



T-Bizは大学発ベンチャーや大学と連携する企業の皆様をサポートする
中小機構が運営するインキュベーション(起業家育成)施設です

春の陽光と共に2023年度がスタートします。試練の時期を経て自社事業の有り様を深く模索する貴重な時間であったと捉えたいものです。T-Bizにおいても季刊報の発行が3年目を迎えました。当初は、自己分析手法の「ジョハリの窓」を見つめ直し、「T-Bizとは何者か、何が出来るのか？」を知っていただく事を真摯に考え、現在は、入居企業様の社会貢献性と、市場優位性を十分に兼ね備えた事業活動を行っている事をタイムリーに伝える事で、“存在感”を知っていただく事が定着したと捉えています。この2年間で各ステークホルダーとなる関係機関の皆様とのエコシステムを更に深化・形成する形態になった事を感謝しつつ、今後もT-Bizの存在意義を深耕して参ります。

東北大学連携ビジネスインキュベータ 【T-Biz】 チーフインキュベーションマネージャー(CIM) 工藤 裕之

中小機構東北本部オリジナルピッチ “aTOP” 開催

3月13日、中小機構東北本部は、東北地域で革新的な技術を活かし事業化に取り組むディープテック(先端研究開発型)スタートアップを対象にしたオリジナルピッチ “aTOP(エートップ)” をハイブリッド開催しました。東北の国公立大学の事業化シーズのスタートアップ 計5社が登壇し、T-BizからはALISysとMK PLUSの2社が参加しました。



ALISys 佐藤先生

MK PLUS 黒川CEO



会場での名刺交換会の様子


会場となったホテルモントレ仙台には、パートナーとなる中小企業や支援機関・VC・CVCの皆様に多数お集まりいただき、ピッチ終了後の会場では活発な名刺交換が行われました。新たなビジネスチャンスの創出や、金融機関による積極的な資金提供のきっかけとなる情報交換の場となり、盛況のうちにお開きとなりました。中小機構東北本部では今後もスタートアップ支援のオリジナルピッチ “aTOP(エートップ)” を開催する計画です。

<https://www.smrj.go.jp/incubation/t-biz/companylist/report/favgos00000921e.html>


<https://jgoodtech2.smrj.go.jp/atop>


<https://www.yts.co.jp/news/news-124899/>


主要メディア掲載

■ 2023年 1月 4日付 日刊工業新聞 
「中堅・中小企業社長100人に聞く」で大武・ルート工業の太田社長が2023年上期経済見通しについて回答された記事が掲載されました。
<https://www.nikkan.co.jp/articles/view/00658887>

■ 2023年 1月25日発売 Forbes Japan No.103 3月号 
シグマアイCEOである大関東北大学教授のインタビュー記事が掲載されました。
<https://forbesjapan.com/magazine/detail/154>

■ 2023年 2月10日付 日本経済新聞 
『超小型ガス分析器 開発 米見本市で受賞』ボールウェーブ
<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOCC086FJ0Y3A200C2000000/>

■ 2023年 3月 8日付 日経産業新聞 
『防災テック、住民の身近に』仙台スマートマシズ
「振動発電デバイスを災害時のトリアージに活用できる」と桑野CEO。
<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUC247VL0U3A220C2000000/>

■ 2023年 3月13日付 Newsweek日本版 
『【現地報告】ウクライナの地雷除去へ！日本製地雷探知機「ALIS」の研修に迫る』ALISys
<https://www.newsweekjapan.jp/stories/world/2023/03/-alis.php>

ALISys 佐藤源之先生 河北文化賞受賞

1/16入居されたALISysの佐藤源之東北大学教授が、災害復興と地域振興のための電波科学利用に関する貢献が認められ『第72回河北文化賞』を受賞しました。岩手・宮城内陸地震における地滑り計測や東日本大震災津波被災者捜索への活用など多くの活動が評価されたものです。
<https://kahoku.news/articles/20221231khn000024.html>

その佐藤先生は、外務省とJICAの要請を受け、カンボジアと連携し、ロシアによって設置されたウクライナ国内の地雷除去作業の訓練をカンボジアにて1/15～20の日程でウクライナ政府職員に向け行いました。ALISys社が独自に開発した地雷探知機『ALIS』4台をウクライナ側に供与する予定で、5月にはポーランドにおいて佐藤先生による実践研修を行う計画とのことです。

国際平和に貢献するALISysの事業は多くのメディアに取り上げられています。詳しくは下記URLのニュースをご覧ください。



(JICA提供) 佐藤先生によるカンボジアでの訓練

<https://alisys.co.jp/%ef%bd%8e%ef%bd%85%ef%bd%97%ef%bd%93/>
<https://www.smrj.go.jp/incubation/t-biz/companylist/report/mpjnl0000054x4.html>

T-Biz入居企業ご紹介

ストーリーライン株式会社

STORYLINE Co., Ltd.



STORYLINE



代表取締役CEO
岩井 順子 氏

ディープテックで、 サステイナブルな未来をデザインする

超臨界流体技術を活用したデカフェとは？

コーヒーを優れた健康飲料として全ての方に飲んでいただくために2018年より東北大学工学研究科とカフェイン除去に関する共同研究を進めています。『**超臨界二酸化炭素抽出法**』を用いて作られた、独自のデカフェ(カフェインレスコーヒー)のカフェイン除去プロセスは、水と炭酸ガスのみを使用し、高圧処理によってコーヒー豆からカフェインのみを選択的に取り除く人体に安全な工法です。T-Biz内に自社研究所「CRAFT DECAF LABO」を開設、カフェイン抽出段階における生豆の内部及び表面に対する損傷の軽減と、コーヒーの旨味や風味を構成する有効成分の損失の防止を図り、日本の技術で世界最高品質のデカフェを作っています。

欧米の健康志向の方を中心に人気が高いデカフェ。反面、高くても美味しくないとイメージもあるデカフェ。ストーリーラインはテクノロジーとデザインの力を用いてコーヒー生産国と消費国双方の課題を解決し、社会をあるべき姿にアップデートする会社です。



カフェインの量を自由にコントロールし、健やかな毎日を過ごすライフスタイル。もちろん美味しさに妥協は不要。2022年10月に、カフェイン量を選べる実証実験店舗「CHOOZE COFFEE」をオープンし、コーヒーの購買動機におけるカフェインの影響度を可視化し、カフェイン量別の購買データを取得中です。得られたインサイトとデータをもとに、新たなカフェインレスコーヒーの販売方法の確立を目指しています。

今後の目標と展望は？

東北大学との共同研究によって開発されたこの独自のカフェイン除去技術により、値段が高くて美味しくないとイメージを覆したいと思います。そして2024年以降に、当該技術を用いたデカフェ工場をアフリカのコーヒー生産国ルワンダに建設、現地で製造した高品質なスペシャルティ・デカフェを健康意識の高まる世界中の消費者に提供してゆく計画です。同時に、中間搾取や流通の課題解決を図り、生産物の高付加価値化によってアフリカ農業の二次産業化に寄与して参ります。



We design sustainable future with DeepTech.

「サステイナブルなビジネスと優れた品質によって、コーヒーに関わる全ての人に幸せなストーリーをお届けする」私たちは、農園からカップまで、コーヒーに関わる全ての人々を笑顔にすることを目指しています。

T-Biz入居のメリットは？

共同研究先である東北大学工学部工学研究科 渡邊研究室の近くに自社のLabを開設できたことが大きなメリットです。常に研究室から適切な意見をいただきながら、社員が自主的に考え、行動することが会社の成長につながると思います。T-Bizはそのための環境として最適です。

また、我々のようなスタートアップに対するケアも手厚く、いつも役立つ情報を提供していただいています。東京の本社の他に仙台に拠点を持つことで研究も人脈も拡大し、当地勤務の人材も今後さらに採用予定ですので、R&Dチームの結束が高まっていくことを期待しています。

《企業プロフィール》



実証実験店舗「CHOOZE COFFEE」日本橋店

美味しいデカフェコーヒーを作りたいとの思いから2018年7月設立。超臨界技術のバイオニアである東北大学工学研究科との共同研究により開発された独自のカフェイン除去技術を活用し、安全で美味しいデカフェコーヒーを提供している。コーヒー生産国ルワンダと消費国の双方の課題を解決するサステイナブルなビジネスモデルと、その成長性・国際性が高く評価され、2022年12月 J-Startup TOHOKU企業に選定された。

ストーリーライン株式会社

[本社] 〒158-0083 東京都世田谷区奥沢4-26-7

[仙台ラボ] 〒980-8579 宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉6-6-40

東北大学連携ビジネスインキュベータ 308号室

<https://storyline-inc.com/>

<https://storyline.official.ec/>



CES 2023 出展報告

■2023年、年明け早々の1/5～8に、世界最大級のエレクトロニクス見本市である『CES 2023』がラスベガス(USA)で開催されました。JETROが主催した「ジャパン(J-Startup)パビリオン」に日本のスタートアップ企業36社が出展、T-Biz入居企業からはJ-Startup企業である**ボールウェーブ**と**エーアイシルク**の2社が出展しました。日本政府も強く後押しをしているスタートアップ企業、西村経済産業大臣も両社のブースを訪問・視察しました。今回のCES出展、両社ともに大きな反響があり、多くのメディアに取り上げられました。

■JAXAと共同開発した超小型ガスクロマトグラフ『Sylph』が「CES2023 INNOVATION AWARD PRODUCT」を受賞した**ボールウェーブ**は、開幕前から注目を集め、海外紙のCES紹介記事等でその技術が紹介されました(英紙「Evening Standard」)。

日本のメディアでも1/11の日経XTECHで「日本のベンチャーが世界最小ガス分析装置、目指すは『ドローンの鼻』」のタイトルで独創的な技術とその将来性を配信しています。



INNOVATION AWARD

高い関心を表すようにブースにはたくさんの方が来場、米国的機関や大手企業をはじめ多くの企業の方より前向きなお話をいただけたとのこと。赤尾社長は、西村大臣主催の夕食会においても貴重な時間を共有し情報交換いたしました。2023年、ボールウェーブ社に一層注目してください。



ブース来訪者の対応をする竹田取締役



西村大臣(左)に説明する赤尾社長



Ball Wave

<https://www.ballwave.jp/news/242/>

<https://xtech.nikkei.com/atcl/nxt/column/18/02316/011100038/>

<https://www.standard.co.uk/tech/ces-2023-could-robots-soon-smell-diseases-b1050506.html>

■**エーアイシルク**は、高性能な導電性繊維「LEAD SKIN」を用いた応用製品グローブ型コントローラー『**ハプティックメタバースグローブ**』を紹介、ブースを訪れた西村大臣も装着し、手の動きを直感的に反映するグローブで仮想空間を体験されました。



原取締役と笑顔の西村大臣(右)

メディアでも何度も取り上げられ、1/7付の日本経済新聞ではその技術と性能を詳しく紹介され、NHK総合テレビ



ブース前の岡野社長

の全国ニュースではCES紹介ニュースのたびに『メタバースグローブ』を装着した原取締役の映像が全国に放映されました。

高性能な導電性繊維を医療・健康分野に展開するエーアイシルク、今年にはバーチャルフィットネスにも進出、海外の General Consumer を意識した映像配信にも力を入れています。以下のURLをクリックするとエーアイシルクが創り出す未来が見えてきます。ますます目が離せません。

AI SILK®

<http://www.ai-silk.com/>

LEAD SKIN <https://vimeo.com/767118823>

Haptic Metaverse Glove <https://vimeo.com/781760557>

Sensing glove <https://vimeo.com/791831780>

<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20230107/k10013943661000.html>

<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOCC054IS0V00C23A100000/>

展示会出展報告

■**ナルルクス**は、1/31～2/2 サンフランシスコ(USA)で開催された『The SPIE Photonics West 2023 Exhibition』に出展、小型レンズユニット関連の高い技術を紹介、「展示会への参加人数はコロナ前の状況に戻ってきており盛況」とのことです。手ごたえのある展示会だったようです。同社は今年1月にホームページを全面リニューアル、これまで以上に海外顧客に向けた情報展開に力を入れています。

<http://www.nalux.co.jp/>



Nalux Company Introduction(English)もご覧ください。

https://www.youtube.com/watch?v=SJx4U4Qtz_g&t



その他、以下の企業も積極的に展示会に出展、独自技術の紹介に努めています。

東北マイクロテック 『ネブコンジャパン』1/25～27 東京ビッグサイト

スーパーナノデザイン・エーアイシルク 『nano tech 2023』2/1～3 東京ビッグサイト

ボールウェーブ 『MEMS SENSING 2023』2/1～3 東京ビッグサイト

T B A 『日本臨床微生物学会総会・学術集会』2/3～5 パシフィコ横浜

J-Startup TOHOKU選定披露会、J-Startup Hour『J-Startup TOHOKU × T-Biz』開催

■1/11、「J-Startup TOHOKU」に追加選定された10社のお披露目となる交流イベントが開催され、T-Biz入居企業より新たに選出された3社(輝翠TECH・ストーリーライン・レボルカ)が登壇しました。イベント開催前には経済産業省 経済産業政策局 吾郷スタートアップ創出推進政策統括調整官がT-Biz視察に訪れ、T-Biz入居企業でJ-Startup企業の**ボールウェーブ**

CTO山中東北大学名誉教授と**エーアイシルク**岡野社長より両社の固有技術の紹介を受け、今後のスタートアップ支援のための意見交換をいたしました。



J-Startup Hourの様子

■1/19には、東京虎ノ門ヒルズのCIC Tokyoで開催されたJ-Startup Hour 『J-Startup TOHOKU × T-Biz セッション』にこの3社(輝翠TECH・ストーリーライン・レボルカ)にピッチ登壇いただきました。CVCからの活発な質問もあり、ディープテックスタートアップが集まるT-Bizを広く認知いただく有意義な夜となりました。

<https://www.smrj.go.jp/incubation/t-biz/companylist/report/favgos00000921e.html>



吾郷統括調整官(左から3人目)

J-Startup TOHOKU交流会

T-Biz 入居企業情報

■**ファイトケミカルプロダクツ** 12/15、加藤CEOと北川CTOが東北大学青葉山コモンズで永岡文部科学大臣と懇談しました。

<https://phytochem-products.co.jp/>

経済産業省など主催の第9回「ものづくり日本大賞」で優秀賞を受賞。

<https://www.meti.go.jp/press/2022/01/20230110003/20230110003.html>

■**輝翠TECH** Tamir Blum CEOが、12/15に「Innovators Under 35 Japan Summit 2022 in Nihonbashi」に、12/20は「X-DOJO Demo Day 2022S」に、2/24は「TGA Festival 2023」に登壇。

<https://www.smrj.go.jp/incubation/t-biz/companylist/report/favgos000001vjei.html>

■**ボールウェーブ** 12/27、医療機器メーカーのシスメックスと呼吸・皮膚ガスなどを試料とする体外診断の新分野における共同開発基本合意書を締結しました。

2/27、世界初の技術となるドローンに搭載した超小型ガスクロマトグラフによるマルチガス分析をT-Biz会議室よりプレスリリース。

多数のメディアが紹介。

<https://www.ballwave.jp/news/>

<https://www.youtube.com/watch?v=AcjAxKrWiM4>

<https://xtech.nikkei.com/atcl/nxt/column/18/01537/00716/>

■**エーアイシルク** 2/20、J-Startup TOHOKU INNOVATORS GATHERING「スタートアップ向け支援施策説明会及び個別相談会」に岡野社長がJ-Startup企業を代表して登壇しました。

https://www.tohoku.meti.go.jp/s_shinki/topics/230207.html

■**仙台スマートマシーンズ** 2/24に開催されたTGA(Tohoku Growth Accelerator) Festival 2023の最終ピッチに桑野CEOが登壇しました。

<http://www.ssmcoltd.co.jp/>

■**シグマアイ** CEO大関東北大学教授が量子コンピューティング技術の世界的なカンファレンスである「Qubits2023 in Miami」(USA)に登壇しました。

<https://www.sigmailab.com/>

■**ALISys** 1/16新規入居。地表設置型合成開口レーダ(GB-SAR)・携帯型地雷検知センサ(ALIS)の開発・製造・販売及び運用・コンサルティングなど。

<https://alisyss.co.jp/>

■**サウンドウェーブイノベーション** 3/18新規入居。低出力パルス波超音波技術(LIPUS)を使用した早期アルツハイマー症改善のための認知症治療用医療機器の開発及び製造。

<https://sw-innovation.com/>

T-Biz 施設ご紹介

充実の設備と恵まれた環境をぜひ一度ご覧ください



研究開発や製品の試作・製造拠点、オフィスとしてご利用いただくタイプの居室

※ P2レベルまで可能(動物実験は不可だが、遺伝子組換え用微生物・魚類の評価飼育までは可能、要相談)



主にオフィスとしてご利用いただくタイプの居室



大人数の会議・セミナー等に使用できるプロジェクト・音響設備完備の共用会議室(1室・予約制)

T-Biz 入居者募集居室ご紹介 (2023年3月末現在)

居室面積や詳しい居室仕様などは下記ホームページをご覧ください。T-Bizにお問い合わせください。

ウェットラボ タイプ 1	207号室(58.62㎡)
ウェットラボ タイプ 2	現在空室はございません。今後の見通しは直接T-Bizにお問い合わせください。
オフィス	403号室(22.28㎡) 405号室(22.28㎡)

T-Biz アクセスとお問い合わせ先



JR仙台駅からお越しの際は
地下鉄東西線「仙台」駅から
「八木山動物公園」駅行きに乗車(約9分)。
「青葉山」駅下車、南1出口から徒歩約2分。
タクシーをご利用の場合(約15分)は
「東北大学未来科学技術共同研究センター」
と指示してください。その東隣です。



T-Biz 東北大学連携ビジネスインキュベータ

〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉6-6-40

☎022-726-5866

<https://www.smrj.go.jp/incubation/t-biz/>



●中小機構は、新たな一歩を踏み出そうとしている経営者をハードとソフトの両面からサポートします。

https://www.smrj.go.jp/regional_hq/tohoku/index.html

インキュベーション

常駐する専門家が早期事業化を一貫してサポート

起業相談支援情報

AIを活用した経営相談 J-Net21による起業・創業に役立つ情報サポート

アクセラレーション

資金調達や事業提携に向けた伴走型のアクセラレーター支援

ハンズオン支援
～専門家派遣～

個別の経営課題に応じて豊富な経験と実績を持つ専門家チームを派遣

ビジネスマッチング

展示会・商談会や「J-GoodTech」サイトで販路開拓をサポート

創業支援拠点

TIP*S・BusiNest 交流や学びの場を提供 実践の第一歩をサポート

Be a Great Small.
中小機構
中小企業基盤整備機構
東北本部